

オープニングセッション

男女共同参画社会とは、あらゆる人々が尊重され、チャンスが与えられ、能力を生かすことができる社会。これまでの歩みを振り返り、これからの課題は何かを一緒に考えていきたいです。



内閣府男女共同参画局
局長 池永肇恵さん



三菱UFJリサーチ&
コンサルティング
執行役員 矢島 洋子

この20年、正社員女性が出産で離職しなくなる、男性の働き方によろやく焦点があたる、という大きな変化がありました。それらの変化を踏まえ、企業単位だけでなく、社会全体のあり方を問う視点から、これからのダイバーシティ推進について話し合いたいです。

第1部 オープニングセッション 全体会

■ 男女共同参画社会基本法から20年 日本社会のダイバーシティはどこまで進んだか？

概要

- 内閣府男女共同参画局長をお迎えし、男女共同参画社会基本法制定からの20年を振り返り、女性活躍を始めとするダイバーシティ推進の進捗状況や今後の課題について対話します。
- 主なテーマ
男女共同参画社会基本法制定の背景や意義
20年間の施策の推移と社会の変化
残された課題とダイバーシティ社会のこれから 等

登壇者 ご紹介

- **内閣府 男女共同参画局長 池永 肇恵 氏**
 - 1987年に経済企画庁に入庁。経済調査・分析や消費者行政等を担当。男女共同参画局で調査課長および総務課長を歴任。厚生労働省、一橋大学経済研究所、法政大学大学院政策創造研究科に出向。滋賀県副知事を務めた後、2018年7月より現職。
- **三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員 矢島 洋子**
 - 1989年(株)三和総合研究所(現MURC)入社。2004年～2007年内閣府男女共同参画局男女共同参画分析官。少子高齢化対策、男女共同参画の視点から、ワーク・ライフ・バランス関連の調査・研究、執筆・講演、コンサルティングに取り組んでいる。著書に『ダイバーシティ経営と人材活用』東京大学出版会(共著)等。

参加対象

- 全分科会参加のみなさま